



総合運動公園の進捗状況は？

稲葉 剛治

問 総合運動公園について市民の方の関心の高まりを感じている。現在の進捗状況を伺う。

答 健康長寿部長 総合運動公園整備に向けた研究として、5施設の視察を行っている。現在、先進団体の検討内容も参考に関係部署と連携し、検討すべき内容の項目の検討を行なっている。

◆不登校に関する取り組みについて

問 不登校児童・生徒の行事の参加について。

答 教育部長 行事に行きたい気持ちや大事にするのは大前提とし、授業としての位置付けをご理解頂いた上で、どうしたら行事に参加できるか話し合いをし、対応している。

問 学校や、各種相談窓口に行くのが難しい状況もある。アウトリーチ（訪問支援）などの手法を取り入れては。

本当に困っている人、弱者に手を差し伸べる市政を

雪田 きよみ

問 市の基本目標「子どもの笑

顔と活気でまちを満たす」ためには、様々な困難を抱えた子どもたちへの多角的な支援が重要と考える。不登校の子どもたちを独りにしないために「居場所」づくりが必要では。市の考えは。

答 教育部長 NPOや市民団体、不登校の保護者の親等の活動を支援し、その方々のアクションを下支えする仕組みを作りながら、一緒に作っていききたい。

問 不登校の子どもたちが、将来の引きこもりにならないための支援が必要と考える。中学校卒業後の不登校児童・生徒に対する支援についての考えは。

答 子ども福祉部長 全国的に引きこもりの問題が深刻化する中、引きこもりを含めた若い世代への支援は重要と考えている。現在策定を進めている「子どもの貧困対策推進計画」策定委員会においても、義務教育終了後の切れ目のない支援に関して議論している。議論を踏まえ、課題として調査研究していく。

地域農業の実情と今後の取り組みについて

松崎 誠

問 埼玉型圃場整備事業の概要と吉屋地区の圃場整備状況と効果は。

答 産業振興部長 事業面積は20ha以上で、土地の換地は行わず、畦畔を撤去し、圃場の拡大や、道路水路の整備を行うものである。平成26年度から吉屋地

区で30haの整備事業がスタートし、平成28年度に整備完了し耕作している。全体的には、道路水路も整備され効率化が図られたと考えている。また、新たな地域での整備の取り組みについては、船渡内地区で27haを予定し、地権者130人に年度内に意向確認を行います。

問 魅力ある具体的取り組みは。

答 産業振興部長 担い手となる農業者の確保や農業団体への支援、生産向上や販路拡大・地産地消の推進など、農業経営の活性化、イベント等により生産者と生産者の交流を深めるなど、農産物のPRに努める。また、首都近郊の農業の在り方について研究していきたい。

区で30haの整備事業がスタートし、平成28年度に整備完了し耕作している。全体的には、道路水路も整備され効率化が図られたと考えている。また、新たな地域での整備の取り組みについては、船渡内地区で27haを予定し、地権者130人に年度内に意向確認を行います。



美南駅東口土地区画整理・地権者の合意形成が最優先

齋藤 詔治

問 本事業は吉川市が行う公共事業であり、市民にとって大変

重要なまちづくりです。平成29年6月に事業認可を得て、予定した仮換地供覧が9ヶ月遅延、平成30年12月に、地権者へ仮換地の供覧通知がなされ、平成31年4月に仮換地指定とされます。地権者より仮換地指定の説明や内容に不満の声があります。土地所有権者は市ではない。地権者の立場にたつて説明等の対応をすべきです。区画整理事業が遅れる最大の原因は、地権者の合意が得られない事です。

問 吉川美南駅は現在2面3線です。2面4線への増設をJRにお願いをしているかどうか。

答 政策室長 武蔵野線有事の際折返しとして整備され、既に1日2本始発列車が運行、鉄道利用者の利便性のさらなる向上をめざし始発の増発や終電の延長を要望して参ります。

見送られました。「早く付けてほしい。」との強い声が寄せられていますし、今のままではとても危険です。市の取り組みと設置見直しは。

越谷・吉川線横断歩道用押しボタン信号機早急に

小林 昭子

問 中央区画内、栄町に造成中の県道「越谷・吉川線」の横断歩道用押しボタン信号機は、当初から地元との話し合いで設置する事になっていましたが、4月の設置が見送られ、9月も

見送られました。「早く付けてほしい。」との強い声が寄せられていますし、今のままではとても危険です。市の取り組みと設置見直しは。

問 草加市、越谷市でも公契約条例が制定された。吉川市でも制定すべきではないか。

答 総務部長 公契約条例の制定については現時点で考えておりません。

問 子どもの均等割の改善を。

答 健康長寿部長 国に求めている。

子ども医療費18歳まで無料化を

佐藤 清治

問 無料化する自治体は増えている。吉川市でも実施を。

答 子ども福祉部長 埼玉県内では18歳末までを対象にしている自治体は、通院18自治体、入院25自治体です。現在のところ引き上げの考えはありません。

◆給食費の軽減を

問 学校教育は無償との観点か

らも子育て支援の点からも軽減すべきと考える。

問 草加市、越谷市でも公契約条例が制定された。吉川市でも制定すべきではないか。

答 総務部長 公契約条例の制定については現時点で考えておりません。

問 子どもの均等割の改善を。

答 健康長寿部長 国に求めている。

吉川小学校区通学路「あいさつ通り」に安全対策を

加藤 克明

問 市内小中学校の通学路には歩道やグリーンベルトなど様々な安全対策がなされています。しかしながら「あいさつ通り」には、そういった対策がなされておらず、西側に外側線が一本あるだけで、側溝の蓋の上を歩いて登校、中には電柱を避け車道側に出て登校している児童もいます。下校時には校門前の横断歩道を渡り外側線すらない東側を歩いて下校。南方面は道路が狭隘で、「あいさつ通り」入口には路面標示がありますが、

答えて市長！一般質問

次ページへ続く